

都市空間デザイン等の計画設計

テーマ	都市空間デザイン等の計画設計
キーワード	駅前広場、道の駅、拠点施設、ランドスケープデザイン、地域計画

駅前広場等における空間デザイン

駅前広場およびその周辺地区は、鉄道と道路の結節点空間であるとともに多くの人々が日常的に利用する都市空間の一つといえます。しかし、これまでの駅前広場の整備水準は充分とは言えず、歩車未分離・慢性的な渋滞、多目的利用やユニバーサルデザインへの対応不足等の問題を有しています。当社は、こうした状況を改善し、安全性・快適性・利便性等の向上したまちの玄関口（シンボル）といえる駅前広場において、憩い・集い・語らいも含めたペDESTリアンデッキと交通広場が一体となった都市空間デザインを含む計画設計に関して、一貫した業務を行っています。

また、同様の都市施設として、道の駅等の計画設計についても、地方自治体等における厳しい財政状況の中での、公共サービスの質の向上、財政負担の軽減を図るためのPPP/PFI事業や、昨今、頻発化する大規模災害時等に利活用される復旧・復興の拠点施設等の導入検討も含め、幅広い領域に対して蓄積された実績を活かし、ランドスケープデザインからの見地にたった、『地域から愛される都市施設等』の計画設計において、当社の技術やノウハウをもって提案します。

駅前広場等における業務区分

標準的な駅前広場の計画設計は、概ね以下のような業務区分となっています。

(1) 上位計画等の把握

上位計画等の把握：市町村の総合計画や都市マスタープラン等関連する計画を整理し、当該駅周辺地区の位置付け、整備の方向性等、基本的な考え方を整理します。

(2) 特性把握

既存資料の整理や実態調査を行うとともに、関係者（鉄道事業者・バス事業者・公安関係者等）へのヒアリング調査も実施し、当該駅の特性把握を行います。

(3) 需要予測

当該駅の機能整理等を行った後、整備が必要となる導入施設の抽出を行うとともに、将来の旅客需要量を推計します。

(4) 配置計画（基本計画）

計画対象地における駅前広場の機能・性格・理念・テーマ等を明らかにした上で、バス・タクシー・一般車等の乗降場・歩道面積等の施設面積に関する規模算定を行うとともに、ペDESTリアンデッキや地下空間等の導入施設の内容・規模等の基本的な内容を設定した駅前広場区域内への配置計画を策定します。

(5) 基本設計

基本計画において定めた基本的な内容に基づき、設計条件との整合を図り、技術的およびデザインの、経済的な見地から設計の方針を明らかにし、実施設計に向けての駅前広場の骨格となる交通施設配置、諸施設の規模、植栽、インフラ設備等についての概略の設計を行います。

(6) 実施設計

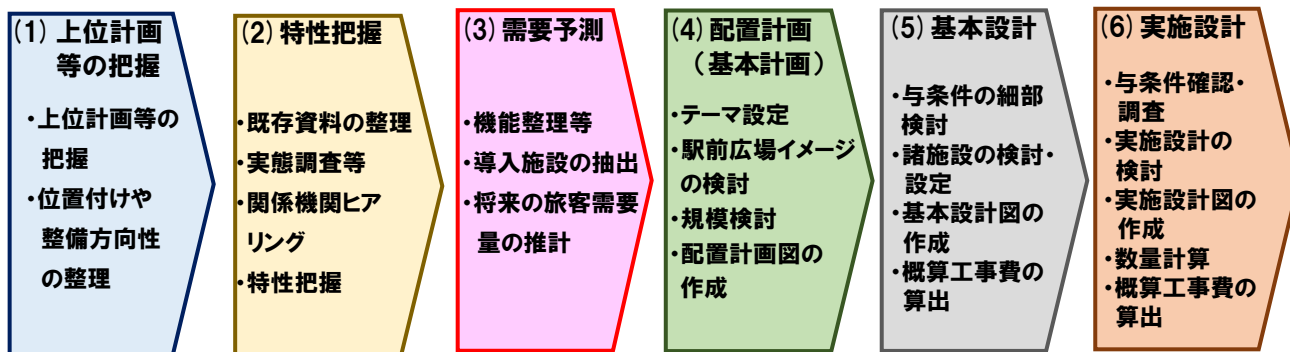
基本設計において定めた設計内容に基づき、安全性、機能性、経済性、施工性、デザイン性といった様々な面から詳細かつ具体的な検討を行い、駅前広場に必要な多種多様な施設における工事設計図書を作成します。

日本工営株式会社

お問合せ	内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。
	URL http://www.n-koei.co.jp/contact/

実施フロー

標準的な駅前広場の計画設計の基本的な流れは、以下のとおりです。



提供サービスの概要紹介

- ① 関係者ヒアリング等：事業を円滑に推進するために、関係者へのヒアリングを充分に行います。計画の熟度によっては、地元住民への説明会の運営補助や広報紙への掲載原稿の作成補助等、P I（パブリックインボルブメント）に配慮した作業も行います。
- ② 規模算定と配置計画：各施設の規模等は各種指針を考慮して算出するとともに、当該駅特性を踏まえた施設配置案を複数作成、比較検討し、最適な配置計画を提案します。併せて、概算事業費の算出とともに、期待される効果についても想定し、費用対効果を算出します。
- ③ 憩い・集い・語らいも含めたランドスケープデザインからの見地にたった計画設計を行うとともに、ペDESTリアンデッキや地下空間等と交通広場が一体となった都市空間デザインを提案します。
- ④ ご要望に応じて、公共サービスの質の向上、財政負担の軽減を図るための PPP/PFI 事業の導入検討も行います。

関連業務の実績（計画設計）

駅前広場において、以下のような計画設計業務の実績を有しています。



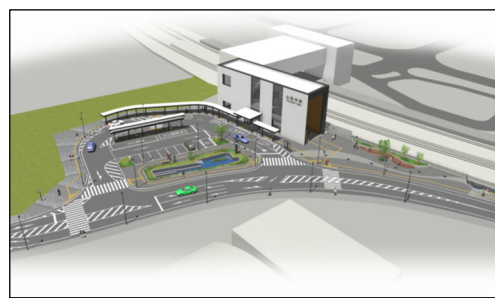
【桜木町駅前（神奈川県横浜市）】



【甲府駅前（山梨県甲府市）】



【上州富岡駅前（群馬県富岡市）】



【山梨市駅前（山梨県山梨市）】